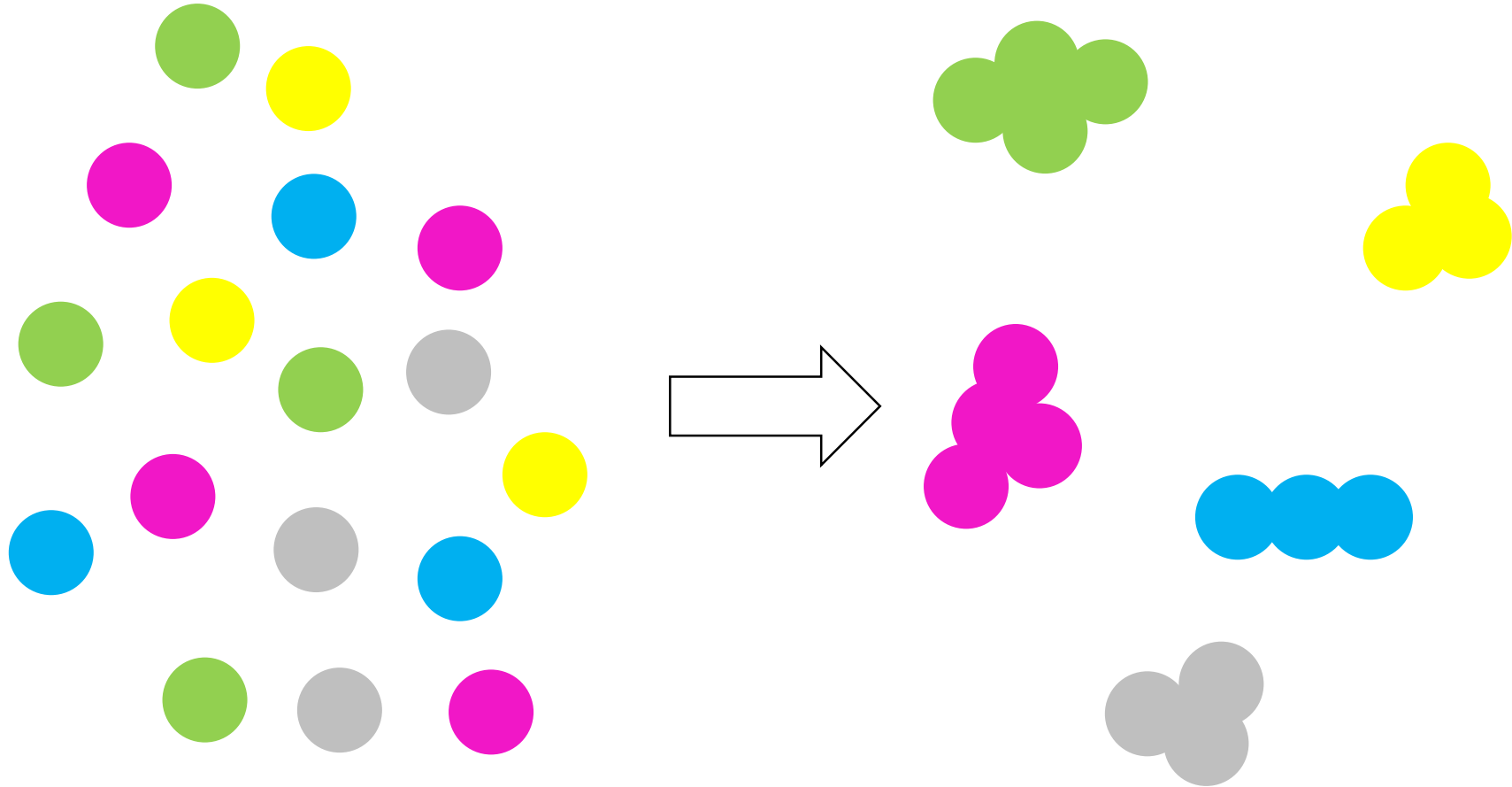


川西町にぎわいづくり検討委員会

第2回ワークショップ

なぜワークショップをやるのか

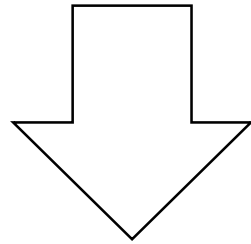


1人ひとりのアイデア

みんなのアイデア

1人だけでは絶対に生まれない

「誰か」と「何か」を「共有」すること



「にぎわい」の創出

ワークショップのルール

- ・みんな仲良く楽しもう
- ・どんなアイデアも出してみよう
- ・他の人のアイデアを大切にしよう

今日の進め方

○第1回WSのまとめ (約10分)

○グループワーク1 (約50分)

テーマ「年間を通じて誰もが気軽に立ち寄れる
施設機能や施設運営の在り方」

○先進地視察研修報告 (約10分)

○グループワーク2 (約30分)

テーマ「先進地視察研修を受けて、取り入れたい
アイデア」

※グループワーク1と2でメンバーはシャッフル

第1回WSまとめ

「中心市街地の可能性と課題の確認」

「施設の使い方を考える」

■「中心市街地の可能性と課題の確認」

○グループワーク前半

そもそも「賑わい」ってなんだろう？ **72項目**

・場所:15項目

「賑わい」を作る「場所」として、既にある場所(ダリヤ園、井上ひさしの故郷、伊達三日月街道、フレンドリーフラザ、商店街など)の活用・連携と、新しい遊び場が求められている。

・人:22項目

「賑わい」を作る「人」として、未来を担う子供や若者世代、人口比率が高まる高齢者、本町の特徴である「置農生」、観光客、外国人が期待されている。

・コト:35

「賑わい」を生み出す「コト」として、祭り、市、音楽やダンス、スポーツ大会等のイベントと飲食の期待が高い。

グループワークを受けて、そもそも「賑わい」とは？

- 「賑わい」は、人が多いことに加え**一人ひとりが生き生きできること**が大事（数が少なくても能動的に活動する生き生きとした風景）。
- 「賑わい」には、その場所に行くこと、その場所を使うことの**ハードルが低く、訪れやすい**ことが大事（空間の雰囲気、利用の仕組）
- 「**出会い**」や「**交流**」もキーワードとして注目される（地域外の人利用）

■「中心市街地の可能性と課題の確認」

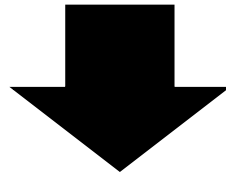
○グループワーク後半

賑わいスポット(黄色)、賑わせたいスポット(ピンク)



**「賑わいスポット」としては、
飲食店と食、スーパー、駅、祭りやイベント会場などが多く挙げられた。**

**「賑わせたいスポット」としては、
天神森古墳(遊び場)、フレンドリーフラザ(喫茶店)、公園(フレンドリーフラザ南)、エ
コスノードーム、三菱鉛筆(オープンファクトリー)、羽前小松駅(東西往来、カフェ、イザ
ベラの鐘)、生きがい交流館駐車場(交流)、商店街(人流増加)、拠点施設(遊具)、皇
大神社が挙げられた。**



**「賑わいスポット」「賑わせたいスポット」と拠点施設の利用、
連携した活動、役割分担が求められている。**

■「施設の使い方を考える」

○グループワーク前半

拠点施設内(屋内外問わず)において、日常で「使いたい場所」「使える場所」

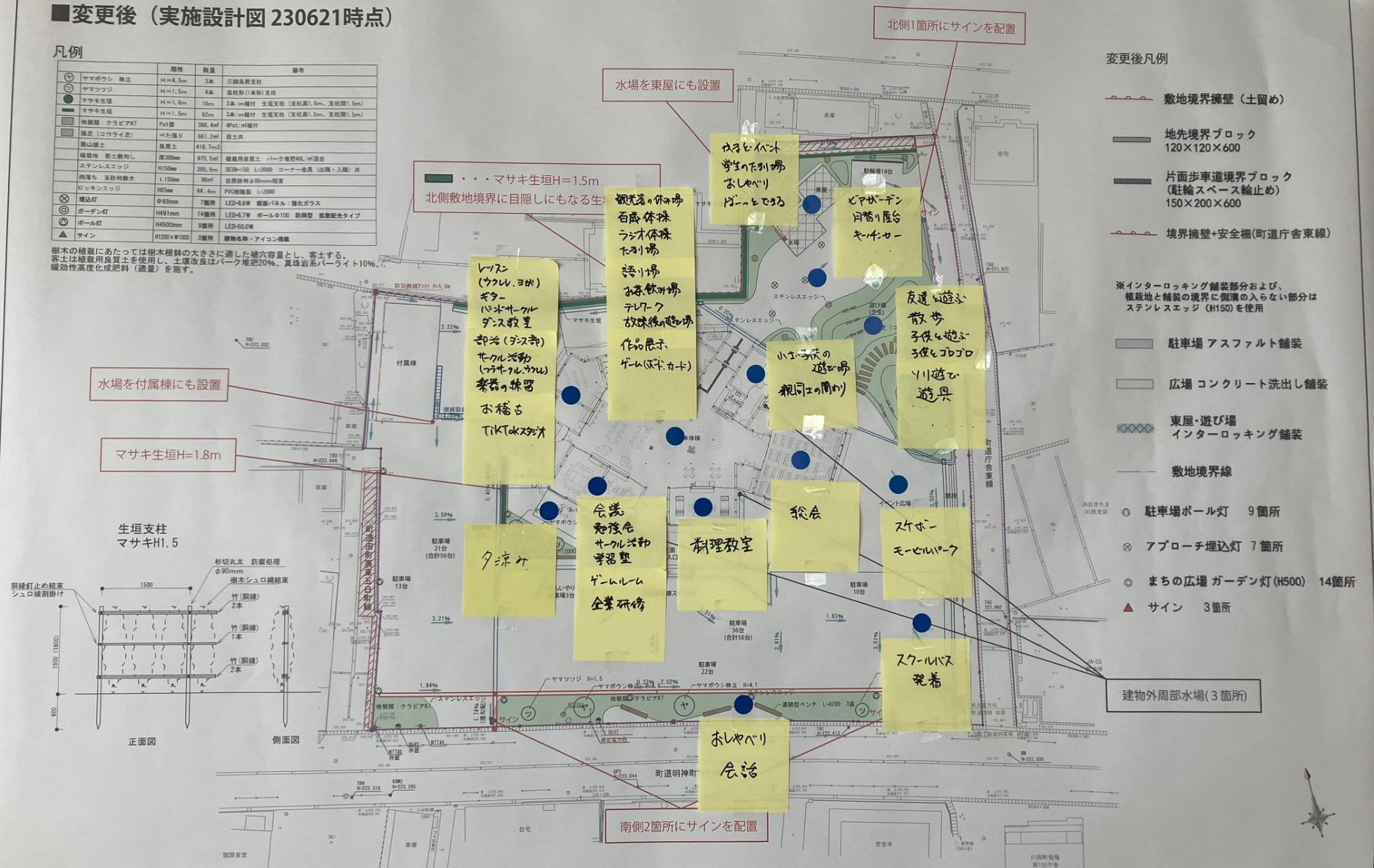
「使いたい場所」「使える場所」を「どのように使いたいか」「どのように使えるか」

■変更後（実施設計図 230621時点）

凡例

| 凡例 | 規格 | 数量 | 備考 |
|----|------------|-------------------------|----------------------------------|
| ○ | ヤマボウシ 株立 | H=4.5m 3本 | 3階高層支柱 |
| ○ | ヤマツツジ | H=1.5m 4本 | 高径形(1本制)支柱 |
| ● | マサキ生垣 | H=1.8m 10m | 2本/m幅付 生垣支柱(実径高1.8m、支柱間1.5m) |
| ■ | マサキ生垣 | H=1.5m 92m | 3本/m幅付 生垣支柱(実径高1.5m、支柱間1.5m) |
| ■ | 地盤層 クラピアKT | 384.4㎡ | 40t/m幅付 |
| ■ | 舗装 (コウライ色) | ベタ強身 661.2㎡ | 緑土系 |
| ■ | 炭山覆土 | 良質土 418.7m ³ | |
| ■ | 植栽地 整土盛り | 厚300mm 975.5㎡ | 植栽用良質土 パーク地肥4L/m ² 配合 |
| ■ | ステンレスエッジ | H150mm 205.3m | 303-150 L=2000 コーナー金具 (出隅・入隅) 共 |
| ■ | 雨落ち 互防有蓋さ | t.150mm 90㎡ | 自然排水径φ100mm程度 |
| ■ | ロッキングエッジ | H50mm 84.4m | PVC樹脂製 L=2000 |
| ○ | 埋込灯 | φ90mm 7箇所 | LED-8.8W 防塵・防水・強化ガラス |
| ○ | ガーデン灯 | H491mm 14箇所 | LED-6.7W ボールφ100 防雨型 拡散配光タイプ |
| ○ | ポール灯 | H4500mm 9箇所 | LED-50.0W |
| ▲ | サイン | H1200×W1000 3箇所 | 建物名称・アイコン掲載 |

樹木の植栽にあたっては樹木根株の大きさに適した植穴容量とし、客土する。客土は植栽用良質土を使用し、土壌改良はパーク地肥20%、真珠岩系パーライト10%、緩効性高化成肥剤(高量)を施す。



変更後凡例

- 敷地境界擁壁(土留め)
- 地先境界ブロック 120×120×600
- 片面歩車道境界ブロック (駐輪スペース輪止め) 150×200×600
- 境界擁壁+安全柵(町道庁舎東線)
- ※インターロッキング舗装部分および、植栽地と舗装の境界に側溝の入れない部分はステンレスエッジ(H150)を使用
- 駐車場 アスファルト舗装
- 広場 コンクリート洗出し舗装
- 東屋・遊び場 インターロッキング舗装
- 敷地境界線
- 駐車場ポール灯 9箇所
- ⊗ アプローチ埋込灯 7箇所
- ◎ まちの広場 ガーデン灯(H500) 14箇所
- ▲ サイン 3箇所
- 建物外周部水場(3箇所)

記事項

| | | | | | |
|---|------------------------------|--------------|---------------|--------------------------|------------------|
| 株式会社 鈴木建築設計事務所 山形市旭町7-55 TEL.023(623)1774 一般建築士事務所 山形県建築士会 第1号 管理棟士一級建築士登録第185747号 安達 勇典 | 設計年月日 令和5年 3月 | 種別 社会福祉施設 | 所在地 山形県山形市 | 工事名称 川西町まちなかササキ整備整備工事 | 管理番号 2021-022 |
| 設計者 外藤 平良 | 縮尺 1:30 (A1) 1:60 (A3) | 図面番号 A-00 | | | |

拠点施設の「日常の使い方」

- 多目的室、ホワイエ、芝生への利用イメージが多く上がった。
- ホワイエ、東屋、南側沿道緑地がゆるやかな「**たまり機能**」や「**会話の場**」にイメージされていることが特徴的(何気ない行動・行動の大事さ)。
- あらゆる場所の利用方法の可能性については、
「**どうすれば実現できるか**」という視点が重要。

■「施設の使い方を考える」

○グループワーク後半

拠点施設内(屋内外問わず)において、非日常で「使いたい場所」「使える場所」

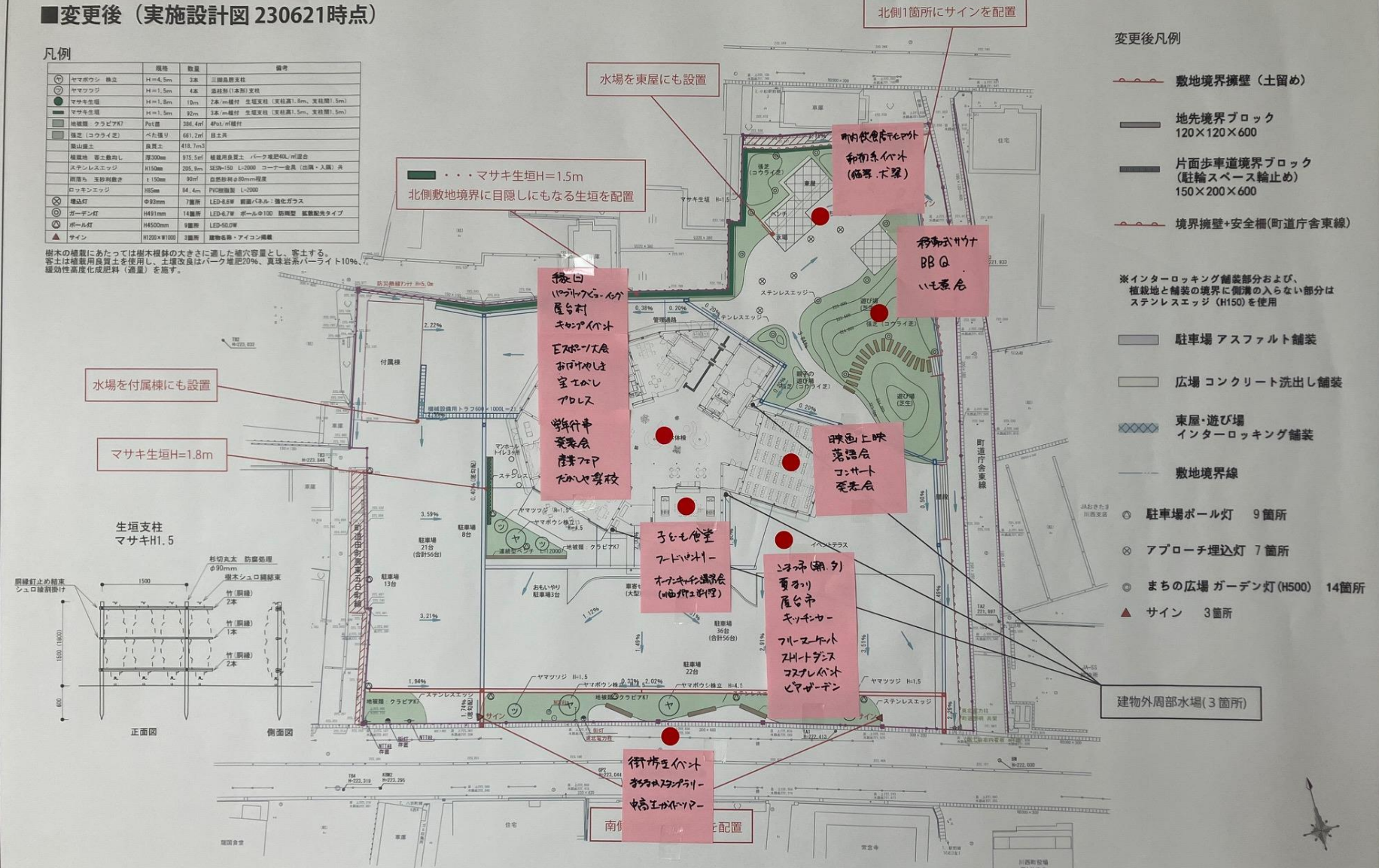
「使いたい場所」「使える場所」を「どのように使いたいか」「どのように使えるか」

■変更後 (実施設計図 230621時点)

凡例

| 記号 | 規格 | 数量 | 備考 |
|----|-----------|--------------------------|---------------------------------|
| ○ | ヤマボウシ 株立 | H=4.5m 3本 | 三脚島形支柱 |
| ○ | ヤマツツジ | H=1.5m 4本 | 高幹形(本形)支柱 |
| ○ | マサキ生垣 | H=1.8m 10m | 2本/m幅付 生垣支柱(実径1.8m、支柱間1.5m) |
| ○ | マサキ生垣 | H=1.5m 92m | 3本/m幅付 生垣支柱(実径1.5m、支柱間1.5m) |
| ■ | 地盤層 クラピア? | 90cm | 40kg/m幅付 |
| ■ | 指定(コウライ定) | 60cm | 目土表 |
| ■ | 腐山土 | 400.7m ³ | |
| ■ | 雑草 草刈後 | 厚30cm | 雑草用良質土 パーク遊歩道・パーク遊歩道・公園 |
| ■ | ステンレスエッジ | H150mm 295.5m | S235L150 L=2000 コーナー金具(出隅・入隅) 共 |
| ■ | 間落ち 玉砂利敷き | t:150mm 30m ² | 自然砂利φ80mm程度 |
| ○ | ロックンエッジ | H50mm 84.4m | PC0幅幅 L=2000 |
| ○ | 埋込灯 | φ90mm 7箇所 | LED-8.7W 前面パネル:強化ガラス |
| ○ | ガーデン灯 | H491mm 14箇所 | LED-6.7W ポールφ100 防雨型 防眩配光タイプ |
| ○ | ポール灯 | H4500mm 9箇所 | LED-60.0W |
| ▲ | サイン | H1200xW1000 3箇所 | 建築物前・アイコン構成 |

樹木の植栽にあたっては樹木根幹の大きさに適した補穴容量とし、客土する。客土は補栽用良質土を使用し、土壌改良はパーク増肥20%、真珠岩茶パーライト10%、緩効性高化成肥料(適量)を施す。



変更後凡例

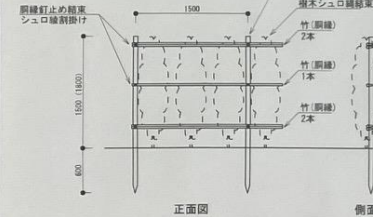
- 敷地境界擁壁 (土留め)
- 地先境界ブロック 120×120×600
- 片面歩車道境界ブロック (駐輪スペース除め) 150×200×600
- 境界擁壁+安全柵(町道庁舎東縁)

※インターロッキング舗装部分および、植栽地と舗装の境界に側溝の入れない部分はステンレスエッジ (H150) を使用

- 駐車場 アスファルト舗装
- 広場 コンクリート洗出し舗装
- 東屋・遊び場 インターロッキング舗装
- 敷地境界線

- 駐車場ポール灯 9箇所
- ⊗ アプローチ埋込灯 7箇所
- まちの広場 ガーデン灯 (H500) 14箇所
- ▲ サイン 3箇所

建物外周部水場(3箇所)



特記事項

| | | | |
|--|---------------|---------------------------|------------|
| 株式会社 鈴木建築設計事務所 | 設計年月日 令和5年 3月 | 図面番号 1-30(A1) 1-80(A3) | 2021-022 |
| 山形県東支庁一宮町 山形県建設部 第114号 管理建築士一級 藤原正樹 1957.4.7 号 安達 謙 | その他設計書 特記 | 工事名称 川西町まちなかテラス整備整備工事 | 図面名称 外観平面図 |

拠点施設の「非日常の使い方」

- ホワイエ、イベントテラスでの利用イメージが多く挙がった。
(イベント実施)
- あらゆる場所の利用方法の可能性については、
「どうすれば実現できるか」という視点が重要である。
- 新規イベントの実現は、実施主体の組織化が必要となるため、
関心が高い人を集めること、そこでの対話から組織や企画が立ち
上がる流れが必要。

自己紹介をしよう

■自己紹介をしよう

…1人あたり約30秒

○名前(あだ名でもOK)

○所属や職業

○夏の思い出

進行役を決めよう！

- みんなで話し合ってください
- 立候補でもOK
- 特に責任はないのでご心配なく(笑)

進行役が決まったら挙手でお知らせください！。
全グループ決まり次第、グループワークの内容
を説明します！

グループワーク 1

■グループワーク1

…約50分

「年間を通じて誰もが気軽に立ち寄れる
施設機能や施設運営の在り方」

○各部屋、各空間ごとの「日常」のアクティビティ
(活動)や目的を想定し、具体的な運用方法などを
みんなで考えよう！

○これまでの思考にとらわれず、自由な発想で！

■グループワーク1(個人ワーク)

…約5分

【ルール】

○自分自身が利用者になって、「**部屋・空間**」と**日常の「アクティビティ(活動)・目的**」
を選択し、ワークシートに記載する

※選択する項目はP13を参考に

○進行の声掛けの順で

- ・【利用者(ユーザー)】
- ・【曜日や時間(「平日or休日」「利用時間帯」「1回あたりの利用時間」)】
- ・【利用人数】
- ・【利用方法(「予約方法」「利用料金」)】
- ・【必要な備品や道具】 を**黄色**の付箋に書いて貼る。特に重要な項目に付箋を**赤ペン**で囲む。

部屋・空間: 多目的室 1, 2

アクティビティ(活動)・目的: 勉強会

【利用者(ユーザー)】

40代
男性

【曜日や時間(「平日 or 休日」「利用時間帯」「1回あたりの利用時間」)】

平日・休日
どちらも

平日 18:00~
休日 14:00~

最小 1時間
最大 2時間

【利用人数】

最小 3人
最大 15人

【利用方法「予約方法」「利用料金」】

専用予約システム
X-1V

最大 500円/時間

【必要な備品や道具】

ホワイトボード

■グループワーク1(個人ワーク)

…1人あたり約1分

【アイデアの共有】

○作成したワークシートを1人ずつグループ内で発表しよう！

○自分自身が利用するうえで、特に重要な項目を1つあげよう！

■グループワーク1(全体ワーク)

…約10分

【ルール】

○事務局で「部屋・空間」を指定 ※ホール、調理室

○以下の内容を**ピンク**の付箋に書く

- ・【利用者(ユーザー)】
- ・【アクティビティ(活動)・目的】
- ・【曜日や時間(「平日or休日」「利用時間帯」「1回あたりの利用時間」)】
- ・【利用人数】
- ・【利用方法(「予約方法」「利用料金」)】
- ・【必要な備品や道具】

○発表順を決め、書いた理由を説明しながら貼る

部屋・空間: ホール

【利用者(ユーザー)】

小学生

【アクティビティ(活動)・目的】

遊戯場

【曜日や時間】

(「平日 or 休日」「利用時間帯」「1回あたりの利用時間」)

平日 休日
6:30~

平日 休日
休日 終了

最小 1時間
最大 2時間

【利用人数】

最小 1人
最大 10人

【利用方法「予約方法」「利用料金」】

予約なし

利用料なし

【必要な備品や道具】

室内遊具

発表タイム！！

■アイデアの共有

…1班あたり約3分

○グループワークの内容を進行役が説明

- ・個人ワークでの傾向や特徴的な考え
- ・全体ワークでの新たな利用方法

休憩タイム . . .

自己紹介をしよう

■自己紹介をしよう

…1人あたり約30秒

- **名前(あだ名でもOK)**
- **所属や職業**
- **好きなスポーツ**

進行役を決めよう！

- ・みんなで話し合ってください
- ・立候補でもOK
- ・特に責任はないのでご心配なく(笑)

進行役が決まったら挙手でお知らせください！。
全グループ決まり次第、グループワークの内容
を説明します！

先進地視察研修報告

三条市図書館等複合施設 「まちやま」

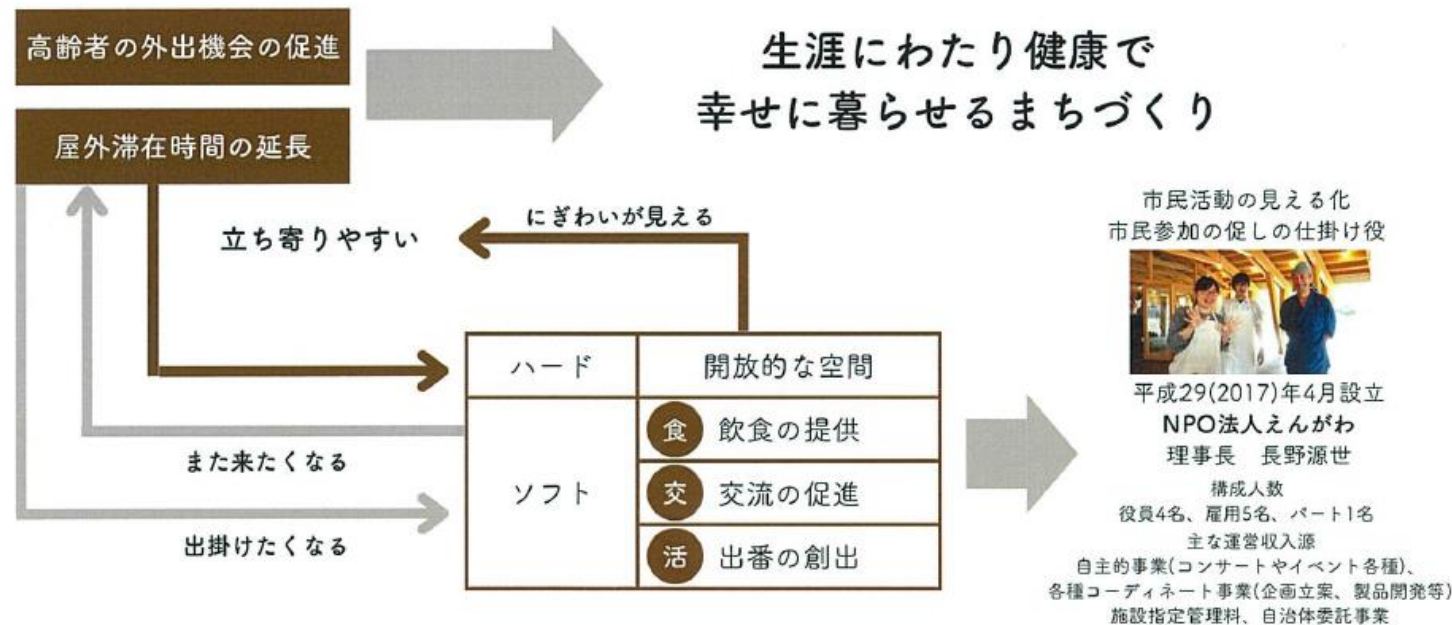
4. 各施設紹介－ステージえんがわ

概要

まちなか交流広場「ステージえんがわ」は、誰もが明るく、楽しく、元気よく、健康に暮らしていけるまちづくりの拠点です。休憩やサークル活動・発表会などにご利用いただけます。また、建物全体が「縁側」になっており、気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごせる自遊空間です。休憩や待ち合わせなど気軽にご利用いただける施設です。

コンセプト

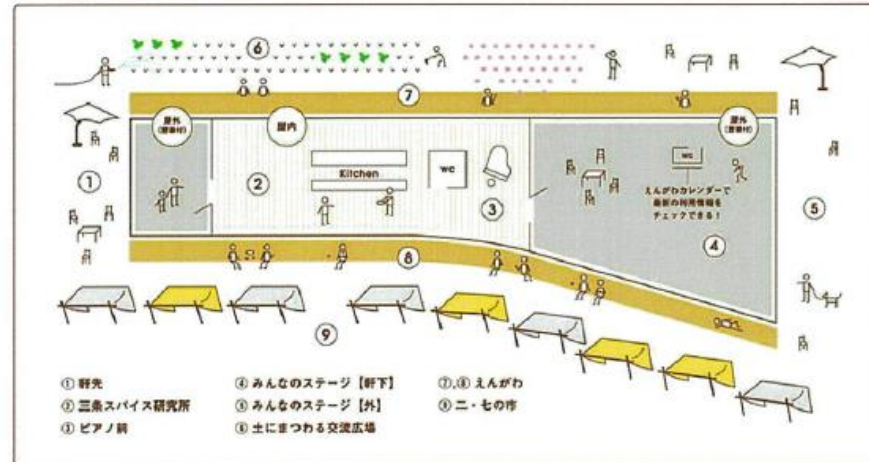
外出機会が少なくなりがちの高齢者がでかけ「縁側」のように気軽に立ち寄り、ときには一人で、ときには知人と思い思いの場所を過ごせる空間として、また「ヒト」と「ヒト」、「ヒト」と「マチ」、「マチ」と「コト」をつなげていくハブ的な機能を意識しながら、生涯にわたり健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していくための核的な位置づけとして整備しました。



4. 各施設紹介－ステージえんがわ

建物概要

計80mの長いえんがわや広い軒下、どこでも気軽の腰掛けられるようになっています。そして建物には壁が存在せず、遮るものも隔てるものもありません。内と外の境界を曖昧にすることで、どこからでも入りやすいようになっています。



計画概要

敷地面積：1,693.95㎡

建築面積：347.17㎡

延床面積：277.67㎡

構造：木造

階数：地上1階建て

主要用途：飲食店・休憩所

設計：

手塚建築研究所/手塚貴晴・手塚由比(建築)

+オノノJAPAN(構造)

+銀山建築設備設計(設備)

+ぼんぼり光環境計画(照明)

施工：

外山組(建築)

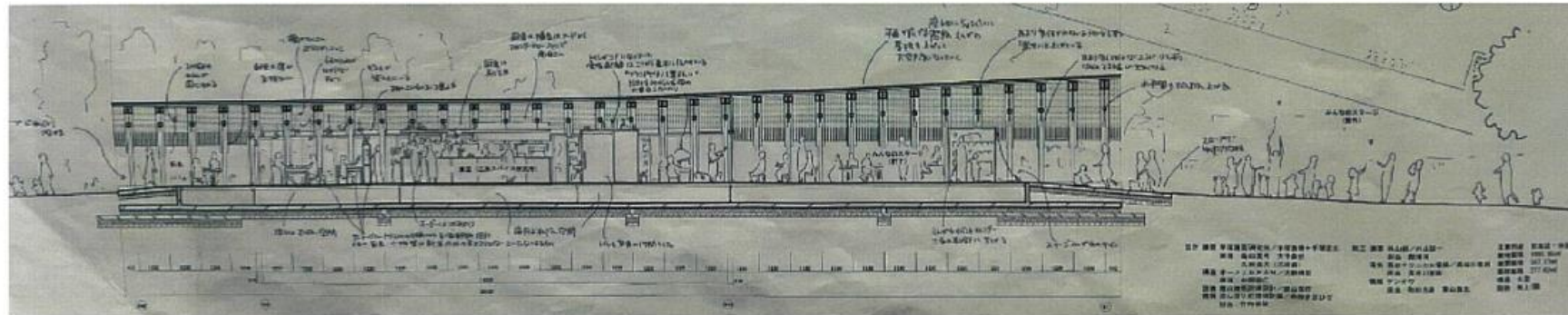
+長谷テクニカル電機(電気)

+ケンオウ(機械)

建設事業費：

整備委託業務 61,479,904円

整備工事(本体・電気・機械) 131,722,200円



設計時のコンセプトシート

4. 各施設紹介—ステージえんがわ



地域の方から、三角ちまきの作り方を学ぶ



家庭でもできるそば打ち体験



地域のラジオ体操



三条市のマンホールを転写するマンホールトートバッグづくり



地域おこし協力隊による木工教室



地域行事
三条夏祭りに合わせた設え

■「ステージえんがわ」のポイント

- 「ステージえんがわ」は当初、高齢者が入りにくかったが、30～40代の子育て世代をターゲットにすることで、孫が高齢者を連れてくるようになった。
- 高齢者は弁当持ち込み可能で、ずっとその場に居ていい仕組みになっている。

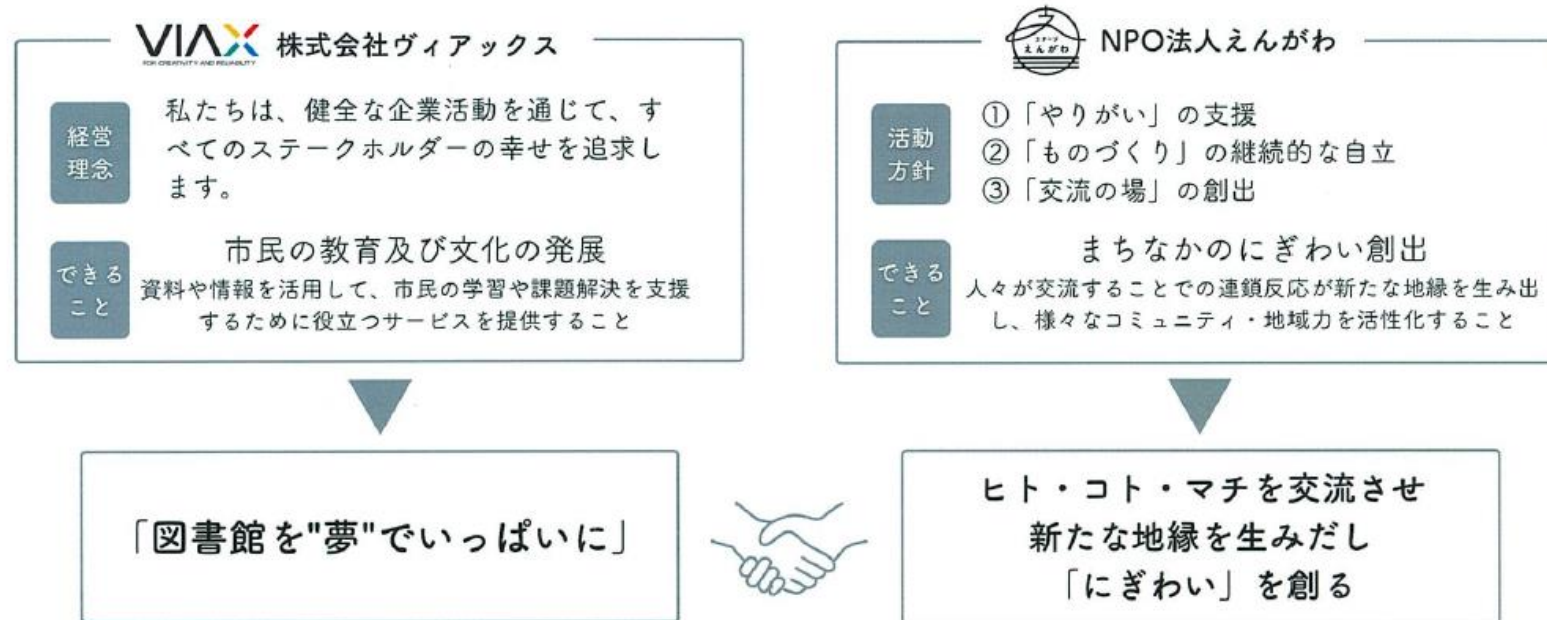
6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

①ツクール・ド・さんじょうとは

本でつながる
ツクール・ド・
さんじょう

「ツクール・ド・さんじょう」とは、代表企業 株式会社ヴィアックスとNPO法人えんがわの2団体による共同事業体です。フランス語の「Le Tour de ○○」(○○1周)と、ものづくりの街三条から“つくる”と“三条”を掛け合わせて、三条のまちが一体となってつながっている様を表現した造語です。図書館とステージえんがわだけではなく、三条市内の各施設や店舗、そして三条市外も含めてつながりを広げ、市民とともににぎわいを創っていきます。

②ツクール・ド・さんじょう構成団体と想い



* 「図書館等複合施設まちやま」令和4(2022)年度指定管理料 159,975,000円

■「指定管理者 ツクール・ド・さんじょう」のポイント

- 2社協働の指定管理者による運営とし、単なる施設管理ではなく、運営・経営が求められている。
- 施設運営・経営にあたり、半径300mから活動を掘り起こした。さらに、人の紹介でさらに情報を集めた。

6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

③協同運営の基本的な考え方『地域特性の活用』

私たちツクール・ド・さんじょうは、この地ならではの地域力(ヒト・モノ・コト)を最大限に活かすということを、運営の基本的な考えにしています。様々な事業やイベントを通じて、地域とのつながりを学び、見て、触れることができるように計画しています。

モノ まちやま道具箱



開始：2023年6月1日～

内容：三条で生まれた道具や工具、刃物などを図書館利用カードで貸出しします。現在三条市内の企業を中心に、剪定ばさみや包丁、大工道具、電動ドライバー等、23セット約70種類を貸出ししています。また、貸出だけでなく道具箱の道具を使用したワークショップも開催しています。提供・メンテナンスは無償にて協賛いただいています。図書館利用カードで貸出しをすることで、多くの市民にご利用いただくことができます。

コト しばふ図書館



開始：2022年11月～

内容：図書館で利用されなくなった本を活用し、イベントなどで本が読める取組を行っています。スノーピークと連携し、スノーピークHQマルシェ等で出店、キャンプに来た方にまちやまを知ってもらう取り組みと併せて開催しています。地域企業との連携で生み出される効果や広報は数多くあり、今後も様々な企業と展開をしていく予定です。

6. 指定管理者ーツクール・ド・さんじょう

⑤実施イベントの様子



オープニングイベント
様々な地域伝統芸能の披露



ものづくりのイベント
木育体験～木のピアノを作ろう～



地域の方との大切なものとのコラボ
ぬいぐるみお泊まり会



三条夏祭り
キッチンカーやあかりの演出



まちやまで過ごす方に向けた
ひろばでのピアノラウンジ演奏

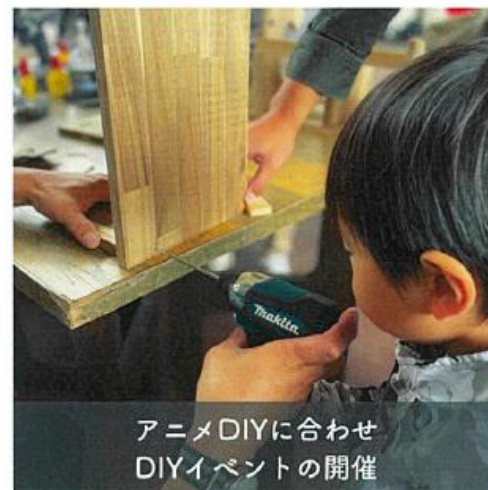


施設を利用したアクティビティづくり
ステージえんがわでのエアリアルヨガ

⑥令和4年度来館者数 別紙1参照

6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

⑦連携(科学教育センター・鍛冶ミュージアム・企業等)イベントの様子



■「イベント」のポイント

- 年間300件のイベントがあり、まずは土着のイベントを調べた。
- イベントを開催するにあたり、「チラシ」を撒いた。
(SNSより効果あり)
- 地域おこし協力隊がイベント企画を考えることもある。⇒協力隊の活動が街に広がっている。

グループワーク 2

■グループワーク2

…約30分

「先進地視察研修を受けて取り入れたいアイデア」

○「まちやまの運営」や「にぎわい創出の手法」について
「これならできる！」もの、または「できるかわからないけど、
したい！」ものを青色の付箋に書き出してみよう！

○書き出した内容を説明しながらワークシートに張り出
してみよう！

※先進地視察研修の参加された委員の皆さん議論のリ
ードに期待しています。(笑)

「まちやまの運営」や「にぎわい創出の手法」で

「これならできる！」もの

「できるかわからないけど、したい！」もの

「これならできる」もの

既存イベントでの
ノウハウを
集客

フレンドリーな
近隣施設との
連携

「できるかわからないけど、したい」もの

年間3回の
イベント開催

発表タイム！！

■アイデアの共有

…1班あたり約3分

○グループワークの内容を進行役が説明

- **すぐに「これならできる」もの**
- **「できるかわからないけど」
工夫次第で「できる」もの**

全体のまとめ